

白黒モデル

カラーモデル

XCL-C280**XCL-C130 XCL-C130C****XCL-C30 XCL-C30C**

*1: XCL-C280

*4: XCL-C30/C30C

*7: XCL-C280/C130

*2: XCL-C130/C130C/C30/C30C

*5: XCL-C280/C130/C30

*3: XCL-C130/C130C

*6: XCL-C130C/C30C

概要

XCL-Cシリーズは、シェーディング補正をはじめとするソニーの独自機能と多彩な機能をキュービックサイズのコンパクトな筐体に収めました。

特長**■高速画像取り込み**

CCD サイズ・解像度		フレームレート	白黒モデル	カラーモデル
1/3 型 CCD	VGA	130 fps	XCL-C30	XCL-C30C
1/3 型 CCD	SXGA	31 fps	XCL-C130	XCL-C130C
1/1.8 型 CCD	2.8 Mega	26 fps (センサータップ 2ch 時)	XCL-C280	
		15 fps (センサータップ 1ch 時)		

* XCL-C280はセンサー出力を1ch、2chと選択ができ、それに応じてフレームレートも変わります。(出荷時は 26 fps 設定です)

■近赤外領域対応: XCL-C280, XCL-C130

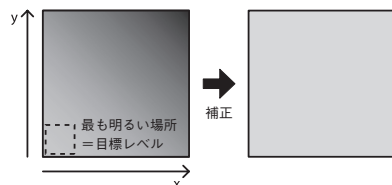
近赤外領域対応 高感度センサーを採用し、近赤外領域にも対応が可能です。

XCL-C280: EXview HAD CCD II™

XCL-C130: EXview HAD CCD®

■シェーディング補正

光源むらやレンズ周辺の光量落ちなどで発生するシェーディングを補正します。ユーザー設定として3種類のユーザーデータを保存することが可能です。

**■温度読み出し**

温度センサーを搭載しており、カメラ内部の温度を読み出すことができます。

■欠陥補正

解像度が求められる用途に有効な機能です。高低温時や長秒露光時に増加する白欠陥点、黒欠陥点を補正します。また、宇宙線などの影響による後発白点、後発黒点の補正も可能です。欠陥検出された座標画素に対して周辺から補正を行います。工場出荷設定とユーザー設定が選択可能です。

*工場出荷時設定: OFF

**CAMERA Link****PoCL****■トリガー**

フリーラン / スペシャルトリガーモード
(バルクトリガー・シーケンシャルトリガー)

■読み出しモード:

ノーマル / ビニング(*白黒モデルのみ) / 部分読み出し

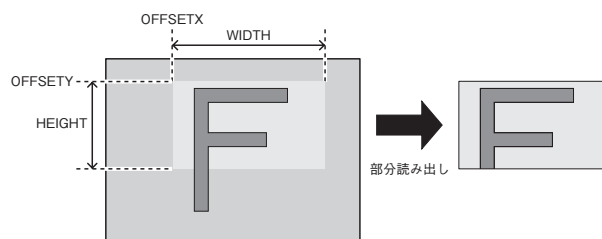
■ビニング (*白黒モデル)

<垂直ビニング / 水平ビニング>

垂直方向の2画素、または水平方向の2画素を加算することで感度が上がるとともに、垂直ビニングではフレームレートも上がります。トリガー有無に関係なく設定可能です。部分読み出しとの併用、水平・垂直同時設定も可能です。

■部分読み出し

画面上の指定した位置を部分的に切り出す機能が、部分読み出しです。切り出し範囲は、切り出し開始点を示す offset X と offset Y、領域を示す Width と Height により決定します。



設定可能範囲

	WIDTH (ピクセル)	HEIGHT (ライン)
XCL-C30/C30C	16 ~ 658	2 ~ 494
XCL-C130/C130C	16 ~ 1296	2 ~ 966
XCL-C280	16 ~ 1940	2 ~ 1460

*切り出しStep: WIDTH: 2ピクセル単位、 HEIGHT: 2ライン単位

■シャッター: Manual / 外部トリガー幅 / Auto**■シャッタースピード: Manual 2 ~ 1/100,000秒, 1μs 単位****■同期方式: ハードウェアトリガー / ソフトウェアトリガー****■ホワイトバランス (カラーモデルのみ)**

・ワンプッシュホワイトバランス

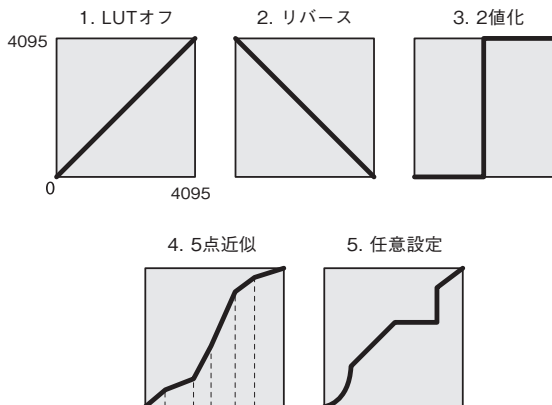
コマンド実行により、ホワイトバランスを1回だけ自動的に合わせます。検波領域は画面中央に初期設定されていますが、検波領域を任意に変更することもできます。

・マニュアル

R/G/Bそれぞれのゲインをマニュアルで調整する事が出来ます。

■読み出し機能

- テストパターン内蔵
白黒モデルは白黒チャート、カラーモデルは白黒チャート/カラーチャートを内蔵しています。
- LUT（ルックアップテーブル）
5種類の方式から選べます。2値化、5点近似、任意設定は設定変更が可能です。



■ 3x3 フィルター

3x3画素のマトリックス演算を行い、画像に様々な処理を加えることができます。

9つのフィルター係数のパターンによってノイズを軽減したりエッジを強調したり輪郭を抽出する等の処理が可能です。

標準（フィルターなし）

3x3フィルター (例)

・ラプラシアンフィルター



■ カメラリンクタップ

カメラ設定状態に関係なく2タップ出力、または1タップ出力を選択できます。出力クロック周波数は以下のとおりです。

	param	XCL-G30 XCL-C30C	XCL-C130 XCL-C130C	XCL-C280
CAMERALINK-TAP	1	50 MHz	50 MHz	81 MHz
	2	25 MHz	25 MHz	40.5MHz

※ 2タップ出力ご利用時は、カメラリンクケーブル長を延伸することができます。
但し、RGB 24 bit出力は2タップを選択できません。

* 出荷時は2タップ出力です。

■カメラ規格：Camera Link (PoCL*/non-PoCL)

* PoCL: (Power over Camera Link: 給電型カメラリンク)

■外形寸法：29(W) × 29(H) × 30(D) mm

■質量：約 56 g

■Cマウント

■高耐振動性構造

周辺機器

■ 小型カメラアダプター（電源装置）

DC-700/700CE

■ 12ピンカメラケーブル

CCXC-12P02N (2 m)

CCXC-12P05N (5 m)

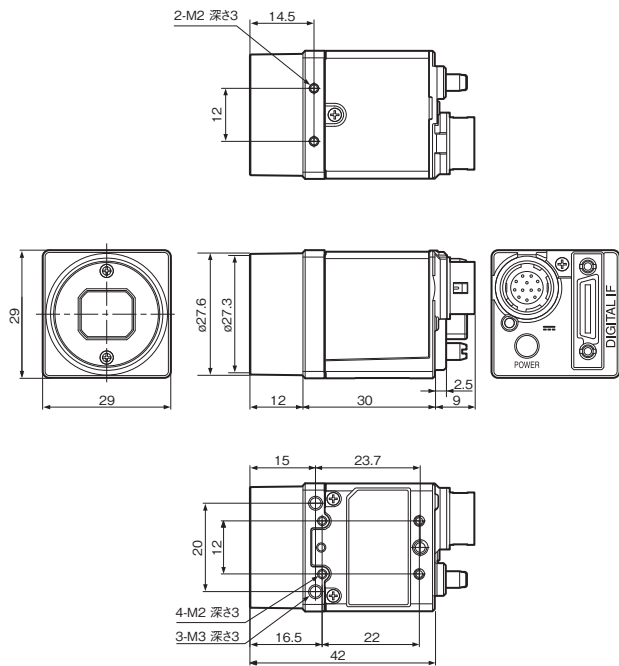
CCXC-12P10N (10 m)

CCXC-12P25N (25 m)

■ 三脚アダプター

VCT-333I

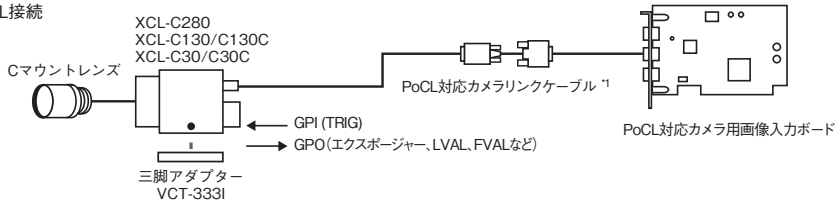
外形寸法図



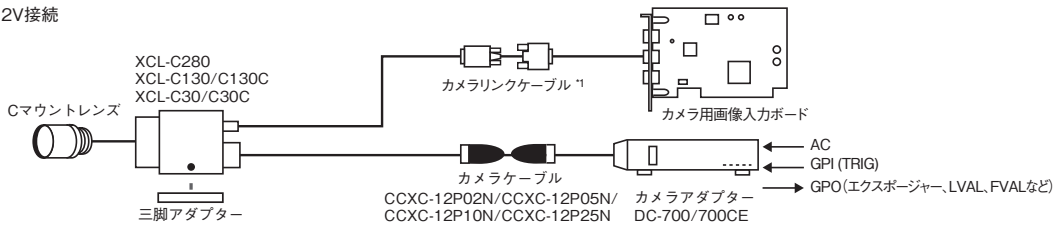
單位：mm

接続図

- ・ PoCL接続



- ・ DC12V接続



*1 高伝送特性タイプをご使用下さい。詳しくは特約店へおたずね下さい。

製品仕様

	XCL-C30	XCL-C130	XCL-C280	XCL-C30C	XCL-C130C
基本仕様					
白黒／カラー	白黒	白黒	白黒	カラー	カラー
画サイズ	VGA	SXGA	2.8 Mega	VGA	SXGA
映像素子	1/3型 PS IT CCD	1/3型 PS IT CCD (EXview HAD CCD)	1/1.8型 PS IT CCD (EXview HAD CCD II)	1/3型 PS IT CCD	1/3型 PS IT CCD (EXview HAD CCD)
有効画素数 (H×V)	658×494	1,296×966	1,940×1,460	658×494	1,296×966
セルサイズ (H×V)	7.4 μm×7.4 μm	3.75 μm×3.75 μm	3.69 μm×3.69 μm	7.4 μm×7.4 μm	3.75 μm×3.75 μm
標準映像出力画素数 (H×V)	640×480	1,280×960	1,920×1,440	640×480	1,280×960
カラーフィルター	—	—	—	原色カラーモザイク	
標準フレームレート	130 fps	31 fps	26 fps ※1	130 fps	31 fps
最低被写体照度	1.5 lx (Iris: F1.4, Gain: 18 dB, Shutter: 1/90 秒)	0.5 lx (Iris: F1.4, Gain: 18 dB, Shutter: 1/30 秒)	0.5 lx (Iris: F1.4, Gain: 18 dB, Shutter: 1/25 秒)	15 lx (Iris: F1.4, Gain: 18 dB, Shutter: 1/90秒)	12 lx (Iris: F1.4, Gain: 18 dB, Shutter: 1/30秒)
感度	F5.6 (400 lx, Gain: 0 dB)	F5.6 (400 lx, Gain: 0 dB)	F5.6 (400 lx, Gain: 0 dB)	F5.6 (2,000 lx, Gain: 0 dB)	F5.6 (2,000 lx, Gain: 0 dB)
SNR	50 dB 以上 (Lens close, Gain: 0 dB, 8 bits)				
ゲイン	Auto, Manual: 0 dB ～ 18 dB				
シャッタースピード	Auto, Manual: 2 ～ 1/100,000 秒, 1 μs 単位				
基準映像出力レベル	235 ステップ (出荷設定 : 8 bit 時)				
基準ベデスタルレベル	16 ステップ (出荷設定 : 8 bit 時)		15 ステップ (出荷設定 : 8 bit 時)	16 ステップ (出荷設定 : 8 bit 時)	
主な機能					
読み出しモード	Normal, ビニング (2×1, 1×2, 2×2), 部分読み出し			Normal, 部分読み出し	
読み出し機能	LUT (2値化、ガンマ (任意設定可))、テストパターン (白黒チャート)、3x3フィルター				
同期方式	内部 / 外部 (ハードウェアトリガー、ソフトウェアトリガー)				
トリガーモード	OFF (フリーラン), ON (エッジ検出、トリガー幅)、スペシャルトリガー (バルクトリガー、シーケンシャルトリガー)				
ユーザーセット / メモリーチャンネル	16チャンネル				
ユーザーメモリー	32 kbytes + 64 bytes × 16 ch				
部分読み出し	W (ピクセル)	16 ～ 658	16 ～ 1296	16 ～ 1940	16 ～ 658
	H (ライン)	2 ～ 494	2 ～ 966	2 ～ 1460	2 ～ 494
GPO	EXPOSURE/ストロボ / LVAL / FVAL / センサーリードアウト / トリガースルー / パルス生成信号 / ユーザー定義 1, 2, 3 (出力切替)				
その他機能	シェーディング補正、欠陥補正、温度読み出し、センサータップ切り替え※2				
インターフェース					
ビデオ出力	digital Mono 8, 10, 12 bit (出荷時 8 bit)			digital Raw 8, 10, 12 bit (出荷時 Raw 8 bit), RGB	
デジタルインターフェース	LVDS				
カメラ規格	PoCL, Base Configuration, CameraLink [®] Version 1.2 準拠				
出力データクロック	50 MHz (1 tap)	50 MHz (1 tap)	81 MHz (1 tap)	50 MHz (1 tap)	50 MHz (1 tap)
	25 MHz (2 tap)	25 MHz (2 tap)	40.5 MHz (2 tap)	25 MHz (2 tap)	25 MHz (2 tap)
Digital I/O	TTL IN (x3), TTL OUT (x3)				
一般					
レンズマウント	Cマウント				
フランジバック	17.526 mm				
電源電圧	DC +12 V (10.5 V ～ 15.0 V: DC IN 端子 / 10 V ～ 13 V: Digital IF 端子)				
消費電力	2.8 W	2.4 W	3.0 W	2.8 W	2.4 W
動作温度	-5℃ ～ +45℃				
性能保証温度	0℃ ～ 40℃				
保存温度	-30℃ ～ +60℃				
動作湿度	20% ～ 80% (結露のない状態で)				
保存湿度	20% ～ 95% (結露のない状態で)				
耐振動性	10 G (20 Hz ～ 200 Hz X, Y, Z, の各方向 20分)				
耐衝撃性	70 G				
外形寸法 (W×H×D)	29×29×30 mm (突起部含まず)				
質量	約 56 g				
MTBF	69,400時間 (約 7.9年)				
規格	UL60950, FCC Class A, CSA C22.2-No.1, IC Class A Digital Device, CE: EN55022 (Class A), AS EMC: EN61326, VCCI Class A, KCC				
標準付属品	レンズマウントキャップ (1)、取扱説明書 (1)				

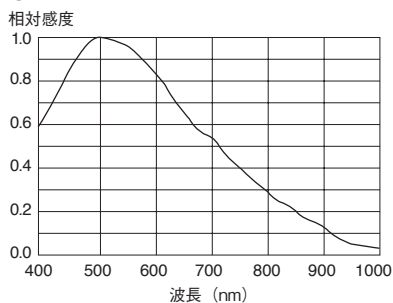
※1 センサータップ 2ch 時

※2 XCL-280 のみ

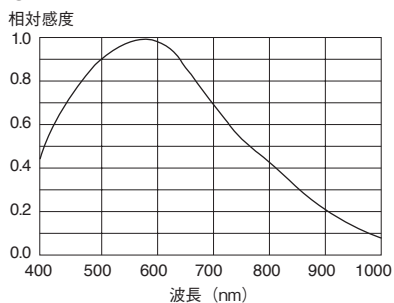
分光感度特性グラフ

白黒モデル

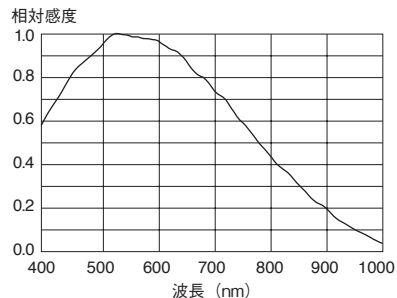
● XCL-C30 (レンズ特性および光源特性を除く)



● XCL-C130 (レンズ特性および光源特性を除く)

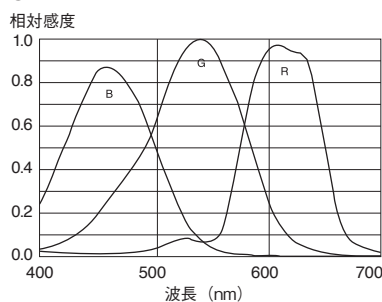


● XCL-C280 (レンズ特性および光源特性を除く)

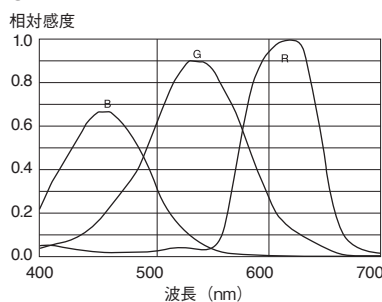


カラーモデル

● XCL-C30C (レンズ特性および光源特性を除く)



● XCL-C130C (レンズ特性および光源特性を除く)



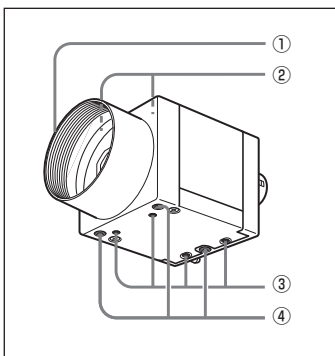
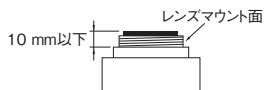
各部の名称と働き

① レンズマウント (Cマウント)

Cマウント式のレンズや光学機器を取り付けます。

ご注意

Cマウント式のレンズとして、レンズマウント面からの飛び出し量が10 mm 以下のものを使用してください。



② カメラ固定用補助ネジ穴 (上面)

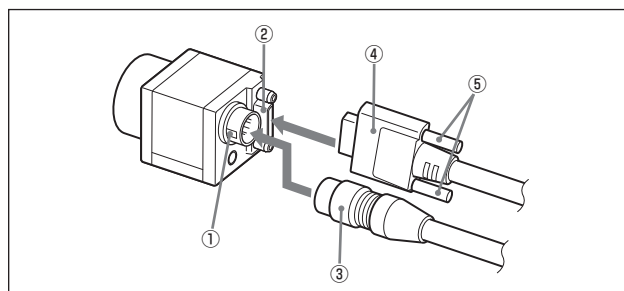
③ カメラ固定用補助ネジ穴 / 三脚取り付け用ネジ穴 (底面)

三脚を使うときは、この4つのネジ穴を使って三脚アダプター VCT-333Iを取り付けます。

④ カメラ固定用基準ネジ穴 (底面)

カメラモジュール固定用に高い精度で切られたネジ穴です。ここでカメラモジュールを固定すると、光軸のずれを最小限にとどめることができます。

ケーブルの接続



DC IN 端子にカメラケーブルを、DIGITAL IF 端子にカメラリンクケーブルをそれぞれ接続してください。PoCL対応のカメラ用画像入力ボードをお使いになる場合は、DC IN 端子にカメラケーブルを接続しなくてもカメラを動作させることができます。カメラリンクケーブルを接続する際は、コネクタの上下にあるコネクタ固定ネジをしっかりとまわして固定してください。

各々のケーブルのもう一方のコネクタは、カメラケーブルはDC-700 に、カメラリンクケーブルはホスト機器のカメラ用画像入力ボードにそれぞれ接続してください。

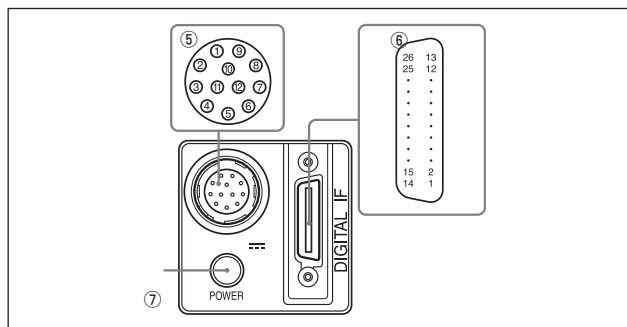
① DC IN 端子 ② DIGITAL IF端子 ③ カメラケーブル

④ カメラリンクケーブル ⑤ コネクタ固定ネジ

ご注意

カメラをPoCL 接続でお使いになる場合には、必ずPoCL 対応のケーブルを接続してください。PoCL 非対応 (non-PoCL) のケーブルを接続すると、カメラまたは画像入力ボードが故障する場合があります。

リアパネル／アサインメント



⑤ DC IN(DC 電源)端子 (12 ピンコネクター)

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	アース	7	GPI3 *2
2	DC12V	8	アース
3	アース	9	GPO3 *1
4	GPO1 *1	10	GPI2 *2
5	アース	11	GPI1 *2
6	GPO2 *1	12	アース

***1 DC IN 端子の4/6/9 番ピン(GPO1/2/3)信号出力について**

設定によりエクスポージャー信号、ストロボ制御信号、Hi/Low 固定などから選択できます。出荷時はGPO1/2/3ともにHi 固定です。

***2 DC IN 端子の7/10/11 番ピン(GPI3/2/1)信号入力について**

GPI 入力またはトリガー入力として機能します。出荷時は、GPI1 はトリガー入力、GPI2/3 はGPI 入力です。

⑥ DIGITAL IF(デジタルインターフェース)端子 (26 ピンミニコネクター)

Camera Link Base Configuration:

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	電源またはアース	14	アース
2	X0 - (出力)	15	X0 + (出力)
3	X1 - (出力)	16	X1 + (出力)
4	X2 - (出力)	17	X2 + (出力)
5	XCLK - (出力)	18	XCLK + (出力)
6	X3 - (出力)	19	X3 + (出力)
7	SerTC + (入力)	20	SerTC - (入力)
8	SerTFG - (出力)	21	SerTFG + (出力)
9	CC1 - (入力)	22	CC1 + (入力)
10	CC2 + (入力)	23	CC2 - (入力)
11	CC3 - (入力)	24	CC3 + (入力)
12	CC4 + (入力)	25	CC4 - (入力)
13	アース	26	電源またはアース

*** DIGITAL IF 端子の1 番ピン・26 番ピンの接続について**

お使いになるカメラ用画像入力ボードの種類により接続が異なります。

PoCL 対応の場合: 1 番ピン・26 番ピンともに電源

PoCL 非対応の場合: 1 番ピン・26 番ピンともにアース

⑦ ステータスLED (緑)

電源オン時に点灯します。トリガー信号に連動して点灯させるなど、GPOに連動した多彩な設定変更が可能です。

ホスト機器 (PCなど) によるコントロール

本機はホスト機器 (コンピュータなど) によりコントロールします。コントロールできる機能は次の表のようになっています。

制御項目	内容	
動作モード	フリーラン／トリガー	
シャッタースピード	フリーラン	1/100,000 秒 ～ 2秒
	トリガーエッジ検出	1/100,000 秒 ～ 2秒
	トリガー幅検出	トリガー幅設定による
ゲイン	0 dB ～ 18 dB	
部分読み出し	2 ライン単位で任意指定可能	
LUT(ルックアップテーブル)	OFF/ON(モード: 5 種類)	
外部トリガー入力	DIGITAL IF 端子／ DC IN 端子	
映像出力切替	白黒モデル: Mono 8 / 10 / 12ビット カラーモデル: Raw 8 / 10 / 12ビット, RGB24	
ビンギン(白黒カメラのみ)	2 × 1.1 × 2.2 × 2	
欠陥補正	OFF/ON	
シェーディング補正	OFF/ON	

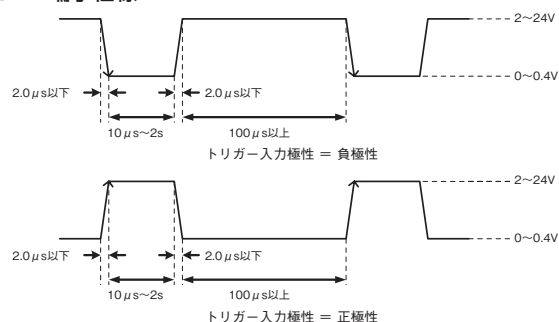
トリガー信号入力

トリガー信号はDC IN 端子の7 番、10 番、11 番ピン、Digital IF 端子 CC1 番、CC2 番、CC3 番、CC4 番ピン、またはソフトウェアコマンドから入力することができます。トリガー信号の切り替えはTRG-SRC コマンドから変更することができます。

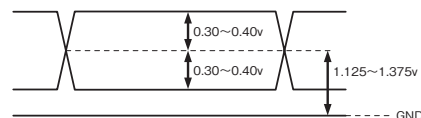
command	param	トリガー信号割り当てピン
TRG-SRC	7	DC IN 端子 7 番ピン (GPI3)
	10	DC IN 端子 10 番ピン (GPI2)
	11	DC IN 端子 11 番ピン (GPI1)
	101	Digital IF 端子 22 番 [+]/9 番 [-] (CC1)
	102	Digital IF 端子 10 番 [+]/23 番 [-] (CC2)
	103	Digital IF 端子 24 番 [+]/11 番 [-] (CC3)
	104	Digital IF 端子 12 番 [+]/25 番 [-] (CC4)
	0	ソフトウェアコマンド (TRG-SOFT)
	20	GPI1/GPI2/GPI3 の OR

トリガーパルス入力仕様

DC IN 端子仕様



Digital IF 端子仕様



ご注意

DC-700/DC-700CEを使用してトリガー信号をカメラに入力する場合、ハイレベルは5 V 以内でお使いください。

トリガーモード

トリガーモードには、フリーラン、バルクトリガー、シーケンシャルトリガーの3 つのモードがあります。

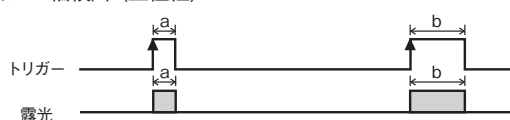
フリーラン

フリーランはトリガーなしで連続して画像が出力されます。トリガーがONの場合は、ハードトリガーがソフトウェアトリガーにより、カメラが駆動されます。この状態で、トリガーモード(トリガーのエッジを基準に、シャッター設定により露光する=エッジ /トリガーパルス幅により露光する=幅)によって、以下の2 つのような駆動となります。(図は正極性)

•トリガーエッジ検出 (正極性)

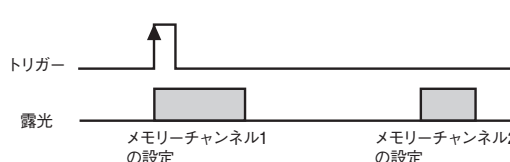


•トリガー幅検出 (正極性)



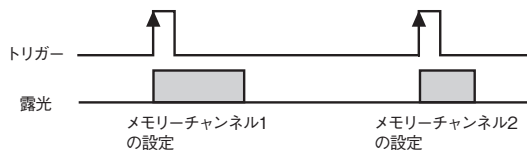
バルクトリガー

あらかじめメモリーチャンネルにカメラの設定を覚えさせておき、1発のトリガーで複数枚の映像を、それぞれ異なった設定で駆動するモードです。以下は、1サイクルが2枚の場合の例です。



シーケンシャルトリガー

あらかじめメモリーチャンネルにカメラの設定を覚えさせておき、トリガーを入れるたびに、順次メモリーチャンネルを呼び出して駆動するモードです。以下は、1サイクルが2枚の場合の例です。



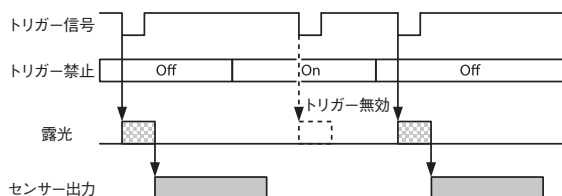
外部トリガー信号と撮影タイミング

トリガーエッジ動作時では、トリガー信号を検出してから露光を行うまでの時間（トリガーレイテンシー）は $0.7\mu\text{s} \sim 1.5\mu\text{s}$ （モデルに依存します）です。トリガー幅動作モードは、トリガーレイテンシーを最小（ $0.7\mu\text{s} \sim 1.7\mu\text{s}$ ）にするモードと、露光時間を優先するモードが選択できます。

トリガー禁止

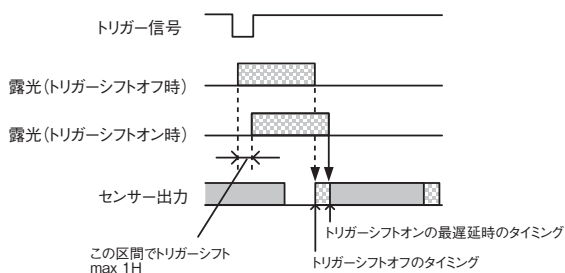
トリガー入力を無効にすることができます。複数台のカメラを同一のトリガー信号で接続した環境において特定のカメラだけにトリガー信号を無効にしたい場合や、設置した環境からトリガー信号線へのノイズ混入による誤動作を避けたい場合などに有効となる機能です。

・露光開始：立ち下り選択時の例



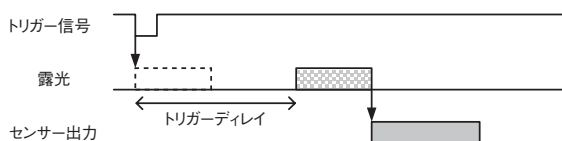
トリガーシフト

スペシャルトリガー動作時を除き、映像出力中でも次のトリガーによる露光を受け付けることができます。この場合、トリガー信号がノイズ源となることがありますが、トリガーシフトを有効にすると、ノイズ混入を避けるためトリガー入力から露光するまでを自動的に調整します。（トリガー入力から露光開始までの時間が最大1ライン分遅延します。）



トリガーディレイ

トリガー信号をカメラ側で遅延させることができます。



トリガーレンジ

設定されたトリガー幅の信号のみトリガー信号として受け付けることが出来ます。トリガー信号ラインのチャタリングや外乱ノイズ等を除去するノイズフィルターとして機能します。また、複数カメラを一本のトリガー信号ラインで共用する際に、特定のカメラのみをトリガー動作させるトリガーセクターとしても機能します。

ユーザーセット

設定値はユーザーセット1～16番までの各チャンネルに保存することができます。このユーザーセットはスペシャルトリガー（パルクトリガー、シーケンシャルトリガー）でも使用できます。

ゲイン

本カメラは、マニュアルゲインコントロールとオートゲインコントロールを用意しています。

マニュアルゲインコントロール

可変範囲0～18 dBまで1 dB単位、または0.0359 dB単位で設定できるゲインを用意しています。

XCL-C280/C280Cにおいては、上記動作に加え、左右の個別のゲインL（左）/R（右）が設定できます。

オートゲインコントロール

本カメラは、指定された検波領域／指定された画像平均レベル（可変範囲：0～16383の14ビット単位）に対して、自動で画像の明るさを制御する、オートゲインコントロール機能を用意しています。可変範囲は、マニュアルゲイン範囲と同じ範囲となります。また、どのエリアの画像平均レベルなのかを示す、オートゲインコントロール検波枠を表示／設定することができます。出力映像の幅と高さを100%として、検波枠は、OFFSET X/Y、WIDTH/HEIGHTの%単位で設定します。

センサータップ切り替え

XCL-C280/C280Cは2チャンネル出力を備えたCCDを採用しており、2チャンネル出力時は1チャンネル出力時よりも高速読み出しが可能です。

GPIO

GPI

DC IN 端子7番、10番、11番に入力されている信号を検知し、GPIコマンドで値を知ることができます。すべてのピンはプルアップされているため、オープンにしている場合は1（Hiレベル）が返答されます。

GPO

GPO1、GPO2、GPO3出力をそれぞれDC IN 端子4番、6番、9番ピンから出力することができます。信号を選択した後、出力極性をGPO-INVERTERで決定します。ストロボ制御信号はGPO1、GPO2、GPO3それぞれ個別に設定が可能です。

command	param1	param2	設定
GPO-SRC	4/6/9	0	エクスポージャー信号
		1	ストロボ制御信号
		2	LVAL 信号
		3	FVAL 信号
		4	センサーリードアウト信号
		5	トリガースルー信号
		6	パルス生成信号
		7	ユーザー定義1
		8	ユーザー定義2
		9	ユーザー定義3